

第17回NCWGW会合

メールメーカーの観点から見る クラウド化の流れ

2013年9月12日

株式会社トランスウェア
佐々木 泰

本日お伝えしたい3つのこと

1. トランスウェアについて
2. メールシステムのクラウド化の流れ
(文教編/企業編)
3. サービスは何を基準に選ぶべきか？

トランスウェアについて


- 1993年設立のメールソリューションカンパニー
- より良いメッセージングソリューションを提供することで、人々のコミュニケーションが「安心」「豊か」になることを目指す会社
- 主力製品・サービスは「ビジネスWebメール」「メール誤送信対策」「メールアーカイブ」「アンチスパム」など
- ソフトウェア、アプリアンス、クラウドサービスで提供



主力製品：Active! mail（ビジネスWebメール）

- 大学など最初は文教市場で評価される（国公立大学の約6割が導入）
- 2005年位から企業向け市場が成長、3, 4年前から急成長
- 累計1,750法人、1,000万アカウントの導入実績（2011年9月現在）
- 累計導入法人数・売上シェアの2部門で6年連続No.1（ソースポッド社）、4年連続売上シェア No.1（ITR社）



 住友商事株式会社

 伊藤忠商事株式会社

 Daiwa House
大和ハウスグループ

MITSUKOSHI  KYOCERA

みずほ信託銀行

 資産管理サービス信託銀行
Trust & Custody Services Bank, Ltd.

 東京海上キャピタル株式会社
TOKYO MARINE CAPITAL CO. LTD.

ひとの
ときを、
想う。 

 ROHM
ROHM ELECTRONIC CORP.

 Limes
24h

 ハウス食品

 Otsuka 大塚製薬

 ITR

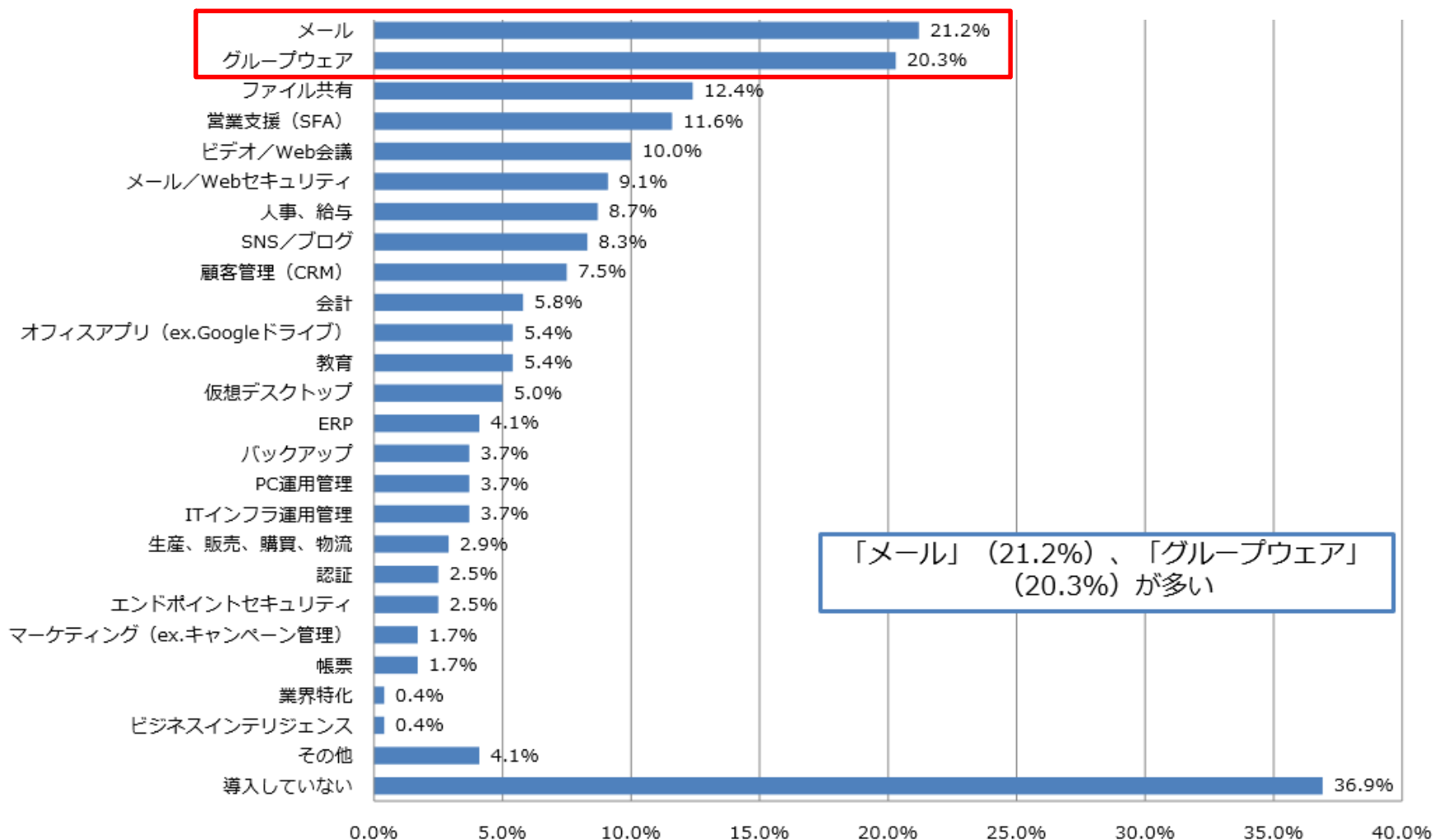
 株式会社 大塚商会

 IJ
Institute of Information Science Japan

 NTT PC COMMUNICATIONS

1. トランスウェアについて
2. メールシステムのクラウド化の流れ
(文教編)
3. サービスは何を基準に選ぶべきか？

すでに利用しているSaaS/ASP製品



出展：アイティメディア TechTargetジャパン会員調査レポート (2012年11月)

文教市場は無償クラウドメールサービスが台頭

- 以前はActive! mailが圧倒的なシェアを誇っていた市場
- 2006年10月 「Google Apps Education Edition」 リリース
- 2007年4月 日本大学が学生100,000ユーザー向けに「Google Apps Education Edition」を導入
- 2007年4月 「Windows Live@edu」 リリース
- 2007年12月 「Yahoo!メール Academic Edition」 リリース



大学のWebメール導入シェア（2010年7月時点）

大学の導入学生数Webメールシェア (2010年7月時点)

1. トランスウェアについて
2. メールシステムのクラウド化の流れ
(企業編)
3. サービスは何を基準に選ぶべきか？

ANA様がGoogle Appsを導入（2013年1月）

2013年03月06日 17時22分 更新

3万人を超えるANAグループ社員がGoogle Appsを利用開始へ

ANAはメールシステムをクラウドサービスに刷新。Google Appsを4万9000ID導入した。

[ITmedia]



PR [できる営業マンへの近道は、タブレットPCと支援ツール！](#)

PR [【特別対談】ビッグデータ利活用を日立×博報堂がサポート](#)

全日本空輸（ANA）は、自社構築による既存のメールシステムをクラウド型サービスへ刷新。来月からグループ40社の全社員3万3000人が企業向けアプリケーションパッケージ「Google Apps for Business」を利用する。サービスを提供したグーグルが3月6日に発表した。

「ワークスタイルイノベーション」をテーマに掲げて業務改革に取り組むANAでは、その一環として2011年からメールシステムの更新を検討。Google Appsが持つ大容量のメールシステム、リアルタイムでの文書共有および編集作業、多様なコミュニケーションツールなどの機能を評価し、2013年1月に導入を決定した。

導入ID数は4万9000に上り、法人では日本で最大規模となる。

クラウド型コラボレーション系サービス 参入企業の動向（ID数ベース）

クラウド型コラボレーション系サービス 参入企業の動向（金額ベース）

1. トランスウェアについて
2. メールシステムのクラウド化の流れ
(文教編/企業編)
3. サービスは何を基準に選ぶべきか？

サービス何を基準に選ぶべきか？

以下の条件をクリアしていることが必要と考えます

1. 自社のセキュリティ・運用ルールに柔軟に対応できること
2. 優れたインターフェースと使い勝手を提供していること
3. 短期間で導入・運用開始ができること

ご清聴ありがとうございました！

Smile Communication.